



# 授業研究を一步先へ!

©県「ももっち・うらっちと仲間たち」

各校においては、夏季休業中に全国及び県調査の結果を分析し、学校や学年の課題に対応する具体的な取組の中心である授業改善を進めていることと思います。その中で、**さらに授業研究を充実させることで**取組を一步先へ進められます。そこで、その充実に向けた視点の1つを紹介します。

## 岡山県の「教師の学び」の現状は?!

R5 全国学力・学習状況調査 学校質問紙調査結果

	学校経営		
	学校運営	教職員の 資質能力の 向上	家庭や地域 との連携等
岡山	5.1	4.7	5.1
全国	5.0	5.0	5.0

※ 学校質問紙項目(22)~(24)における「選択肢別の得点換算」の全国平均値を基準として比較した値

今年度の全国調査における学校質問紙の「学校経営」に関する調査結果は、左の表のとおりですが、「教職員の資質能力の向上」については、全国より-0.3ポイントとなっています。この結果から、様々な取組を実践しているものの、教職員の資質能力の向上にはつながっていないと捉えている学校が多いことが分かりました。

そこで、資質能力を向上させる場として、法定研修や校内研修、授業研究、自主研修等がありますが、今回は、「授業研究」に焦点を当てることで、**これまでの自校の授業研究を一步先へ進め、教職員の資質能力が向上する取組の工夫**につなげてみましょう。



教職員の資質能力の向上につながる授業研究になっていますか?

### 単発の取組になりがちな授業研究のサイクル

指導案作成	研究授業当日
十分な時間が確保できず、 <b>指導案を作成することが目的になっている。</b>	通常の授業では用いない、 <b>特別な教具や教材を使用した外向けの授業</b> になっている。
研究授業後	研究協議
改善点が明確にならず、共有化も図れないので、 <b>これまでどおりの授業を行う。</b>	研究テーマや学校教育目標と結び付けることなく、 <b>教師の発問や児童の反応等について感想を述べる。</b>

### 資質能力の向上につながる授業研究のサイクル

指導案作成	研究授業当日
<b>校内研究における目標と指導の工夫点を明確にし、指導案に反映させる。</b>	<b>単元を通して付けた資質能力に応じた教具や教材を使用し、本時のねらいに迫る授業を行う。</b>
研究授業後	研究協議
<b>決めた取組を各自が実践し、定期的に全体で振り返る。実践を次の授業研究で検証する。</b>	校内研究の目標や学校教育目標の視点が達成できていたかについて振り返り、 <b>今後実践する取組を決める。</b>



せっかくがんばったのに次につながる取組にならなかったな...



学校全体の授業力の向上につながる取組になりそうだね。



右上の例は、秋田県と大分県への派遣者からの情報を参考にしています。詳細は、別添の県外レポート通信を御覧ください。2県に共通している視点は、「**育成したい資質・能力を学校全体で共有し、教科を超えて、取組を進めている**」ことです。特に秋田県では、「研究授業をして終わり」ではなく、「**研究授業で各教科の取組を検証し、改善案を考える**」ことを重視しています。

授業研究の**最後5分**で、次の日からの取組を一人ひとりが決めることから始めませんか?